



NST通信

お知らせ

- ◆委員会
9月24(木) 16時00分～ 講義室
- ◆勉強会
9月24(木) 17時40分～ 研修室
◇症例検討 or ミニレクチャー or 論文紹介
HCU・4E

NST 通信では各部署のNST 委員の方に記事担当をお願いしてトピックスなどを紹介しています。今月は**歯科口腔外科・外来**の担当です。

口腔乾燥と唾液について 担当部署：歯科口腔外科

加齢に伴う身体の変化や薬の副作用により、唾液は減少し、口腔乾燥を引き起こします。また、**経腸栄養の方や口呼吸**をしている方も**口腔乾燥**の傾向があります。唾液は健康な人で1日約1～1.5リットル分泌され、その効果は口腔内に留まらず、全身の健康に重要な役割を担っています。



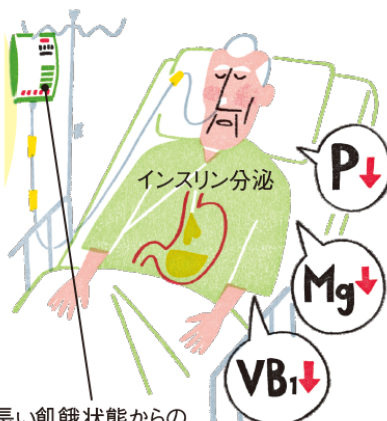
☆唾液の主な役割☆

希釈・自浄作用 口腔内の細菌や食物残渣などを希釈し洗い流す	歯の保護作用 唾液中のタンパクによりペリクルを形成し、歯を保護する	歯の再石灰化作用 脱灰して失われたカルシウムやリンを補い、再石灰化する	粘膜保護・潤滑作用 発音・会話・咀嚼・嚥下をスムーズにする
免疫作用 唾液中の免疫グロブリンが口腔内細菌に対して様々な防御作用を示す	緩衝作用 酸性に偏った環境を中性に戻し、歯の脱灰を防ぐ	抗菌作用 様々な抗生物質により、細菌の活動を抑制する	消化作用 唾液中の酵素アミラーゼでデンプンを加水分解する

唾液を分泌させるための最高の刺激は**口を使うこと、口から食べる**ことです。食べるためには口が潤っている必要があり、また食べることで唾液が分泌されるので良い循環が生まれます。そのほか、口腔内にある唾液腺に刺激を与えるマッサージなども効果的です。

リフィーディング症候群 (refeeding syndrome) とは? 担当部署：外来

リフィーディング症候群とは、慢性的な栄養障害がある状態に対して、急激に栄養補給を行うと発症する代謝性の合併症です。飢餓状態が長く続いたあとに急に栄養補給されると、心不全や呼吸不全、腎不全、肝機能障害ほか多彩な症状を呈することがあります。



長い飢餓状態からの急激な栄養投与

リン・マグネシウムの細胞での利用が進む
➡血中濃度は低下

心不全、不整脈、呼吸不全、意識障害など

ビタミンB₁の利用が進む
➡さらなる枯渇

運動失調、錯乱、逆行性健忘症など

観察ポイント

- 下記基準が1つ以上
 - BMI (kg/m²) が16未満
 - 過去3～6か月で15%以上の意図しない体重減少
 - 10日間以上の絶食
 - 再摂取前の低カリウム血症、低リン血症、低マグネシウム血症
- または、下記基準が2つ以上
 - BMI (kg/m²) が18.5未満
 - 過去3～6か月で10%以上の意図しない体重減少
 - 5日間以上の絶食
 - アルコール依存の既往、または次の薬剤の使用歴がある：インスリン、化学療法、制酸薬、利尿薬